令和元年度
赤い羽根ポスターコンクール
大分県知事賞

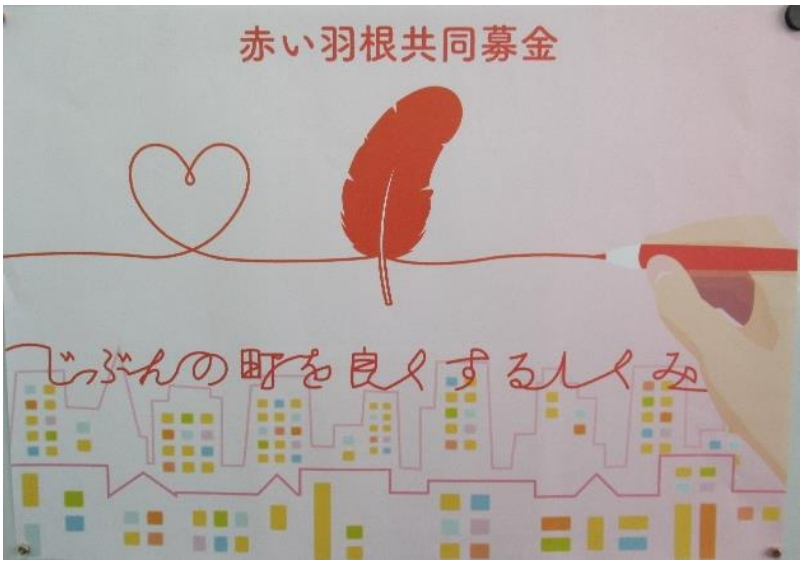
大分県立鶴崎工業高等学校　２年　佐藤　由唯

大分県共同募金会会長賞

大分県鶴崎工業高等学校
２年　児玉　有希

杵築市立　杵築中学校
３年　中山　華乃心

優　　秀　　賞

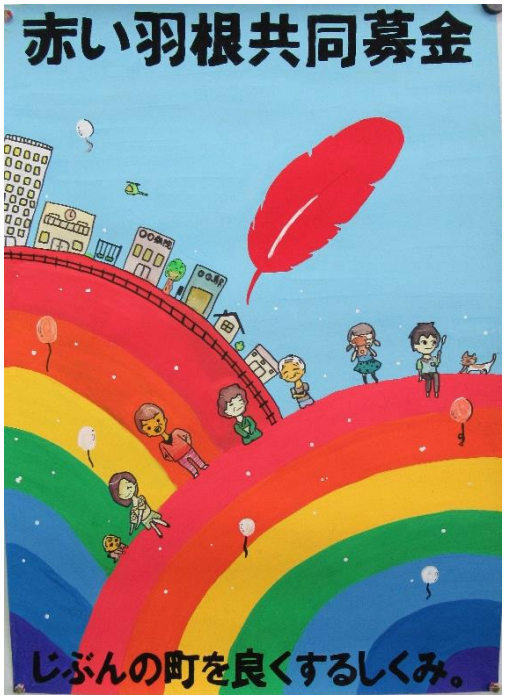


大分県立鶴崎工業高等学校
３年　岡部　由依

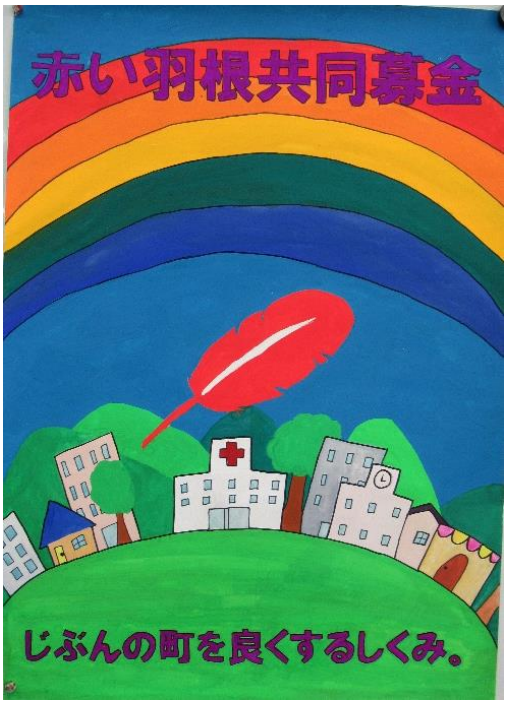
大分県立　鶴崎工業高等学校
３年　中村　佳夏

杵築市立　杵築中学校
３年　古川　碧莉

優　　秀　　賞



杵築市立　杵築中学校
３年　矢野　杏美



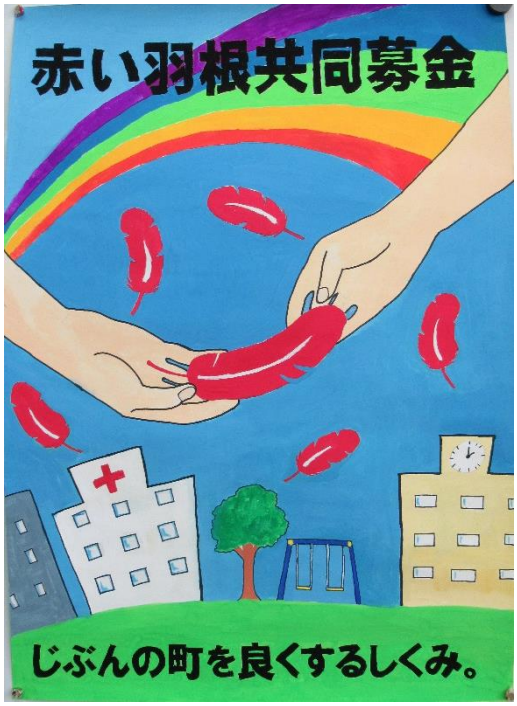
杵築市立　杵築中学校
２年　堀　綾

杵築市立　杵築中学校
２年　内野　美來

杵築市立　杵築中学校
２年　河野　瑶子

優　　秀　　賞

杵築市立　杵築中学校
１年　井本　みのり



杵築市立　杵築中学校
１年　清末　この

日田市立　東部中学校
３年　大下　理緒

奨　　励　　賞

大分市立　森岡小学校
５年　丸山　日麻理

学　校　賞

①　杵築市立　杵築中学校
②　豊後高田市立　臼野小学校
③　豊後高田市立　香々地中学校
④　学校法人岩田学園　岩田中学校

令和元年度　総評

今年度は、昨年度よりも応募作品数は減少していますが意欲的な作品も数多く出品されていました。設定されている課題は毎年同じものではありますが一つとして同じものがなく、それぞれの個性的な作品は長年デザインと係わりを持っている人間でもハッとする気づきがあります。
今年度もパソコンを利用した作品が多く出展されていますが、デザインソフトを利用した作品は、ある程度の水準で仕上がりが確保できるものの画一的な作品にもなりやすいという側面もあります。しかしながら今年度の知事賞はパソコンを使用して創られた作品が選出されており、選考者の懸念を払しょくするに余りある水準に仕上がっています。